

## 2013（平成25）年度総会および関連行事のお知らせ

総会およびその後の諸行事を下記のとおり開催いたします。会員各位多数ご出席下さいますようご案内します。

### 2013年度総会

- 日時** 2013年5月24日（金）13時～14時20分
- 場所** 千里ライフサイエンスセンタービル 801-802号室  
〒560-0082 豊中市新千里東町1-4-2 TEL. 06-6873-2010  
<http://www.senrilc.co.jp/access/access.html>
- 次第**
1. 会長挨拶
  2. 会務報告
  3. 監査報告
  4. 議事
    - 審議事項 (1) 2012年度事業報告（案）の件
    - (2) 2012年度決算（案）の件
    - (3) 2012年度監査報告（案）の件
    - (4) 役員選任に関する件
    - 報告事項 (1) 2013年度事業計画の件
    - (2) 2013年度予算の件
  5. その他

### 2013年度第2回理事会

- 日時** 2013年5月24日（金）14時30分～15時30分
- 場所** 千里ライフサイエンスセンタービル 603-604号室  
※終了後に生物工学懇話会に合流

### 第18回生物工学懇話会

- 日時** 2013年5月24日（金）14時30分～17時30分
- 場所** 千里ライフサイエンスセンタービル 801-802号室  
※詳細は次ページ参照

### 懇親会

- 日時** 2013年5月24日（金）17時30分～19時
- 場所** 千里ライフサイエンスセンタービル 603-604号室
- 会費** 5,000円
- 申込方法** 懇親会参加者は原則として予め参加申込してください。①氏名、②住所ならびに所属、連絡先TEL/FAX/E-mail、③会員種別を明記して、下記の申込先までFAXまたはE-mailをお送りください。
- 締切日** 2013年5月10日（金）
- 申込先** 日本生物工学会事務局 TEL. 06-6876-2731 FAX. 06-6879-2034 E-mail: [info@sbj.or.jp](mailto:info@sbj.or.jp)

# 第18回生物工学懇話会

日時 2013年5月24日（金）14時30分～17時30分  
場所 千里ライフサイエンスセンタービル801-802号室  
参加費 無料

プログラム (司会：大政 健史)  
14：30～14：40 開会の挨拶 原島 俊

14：40～15：30 講演1「**生物工学と私の夢について**」 (名古屋大学大学院・准教授) 大河内美奈  
学生時代よりバイオセンサや微生物の電気化学的制御に関する研究を行い、現在は医用デバイス  
の開発に関する研究を進めている。最先端・次世代研究開発支援プログラムでは、患者数が近年  
増加している食物アレルギーに注目し、抗原タンパク質のアミノ酸配列を配置したペプチドアレ  
イを作製することにより抗体エピトープに関する詳細な解析を行い、病態モニタリングシステム  
の開発を進めている。生物工学を基礎として問題発見解決型の研究を進め、環境や医療分野にお  
けるバイオセンシング技術の研究開発に貢献したい。(座長：貝沼 章子)

15：30～16：20 講演2「**パネルディスカッション：若手学生を交えて50年後の生物工学について**」  
飛翔賞受賞 (北海道大学大学院) 佐藤 康史  
(名古屋大学大学院) 佐々木寛人  
(大阪大学大学院) 仲嶋 翼  
(広島大学大学院) 小寺 星

日本生物工学会では、創立90周年記念事業の一環として、博士課程に進学する21世紀を担う優  
れた研究業績を挙げることを期待されている若手学生会員に生物工学学生優秀賞（飛翔賞）を授  
与している。本講演では、記念すべき第一回の受賞者4名に、50年後の生物工学について、それ  
ぞれの未来の夢や期待する事柄を語って頂き、さらに学会執行部と受賞者を交えて生物工学の今  
後の50年の発展や人類社会への貢献について討議する。(座長：大政 健史)

16：20～16：35 休憩

16：35～17：25 講演3「**幕末の薩摩と会津～酒文化の比較**」 (志學館大学人間関係学部・教授) 原口 泉  
会津と薩摩は日本酒と焼酎の名産地である。歴史的に両地は戊辰戦争と薩英戦争で激しく戦っ  
た。今年のNHK大河ドラマ「八重の桜」は東北支援もあって好評の内に始まった。主人公の新  
島八重とその兄山本覚馬と薩摩とは意外な関係がある。覚馬は江戸で修業中、薩摩藩主島津斉彬  
のもとに居候していた坪井芳洲の医学塾日習堂で学んでいる。芳洲は斉彬の侍医となり鹿児島で  
斉彬を看取った医者である。また覚馬は禁門の変では薩摩の家老小松帯刀と共に朝廷を守った旧  
知の間柄。薩長同盟後、形勢逆転、鳥羽伏見の戦いで捕虜となった覚馬は薩摩藩邸で手厚く遇さ  
れた。そして覚馬は京都府の顧問に取り立てられ、八重と母、姪も京都に移住した。八重は京都  
で新島襄と出会い結婚、同志社英学校も開校した。覚馬は京都を近代化した功労者であるが、琵琶  
湖疏水を完成させ京都の近代化を成就したのは、西郷隆盛の長男菊次郎。菊次郎は第2代の京  
都市長であった。また鹿鳴館の花と言われた大山捨松は会津鶴ヶ城砲撃を指揮した薩摩の大山巖  
の後妻である。捨松の兄は会津藩家老、次兄健次郎は白虎隊士（若すぎて外された。のち東大と  
京大の総長）。八重の6歳下の幼馴染、日向ユキは維新後北海道でもと薩摩藩士内藤兼備の妻となっ  
た。このような両者の縁が生まれたのは何故なのか？ 考えてみたい。(座長：坂口 正明)

17：25～17：30 閉会の挨拶 水光 正仁